

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜分散パターン＞

資料

アイデア	セールスポイント		課題
	どうして? Why	誰が喜ぶ? Who	
公共施設を現在の位置で増築、改修、建替え	<ul style="list-style-type: none"> • まちの現在の環境の維持 • 駅近施設の利便性の維持 • 使用できるものを長く使う • 災害・感染症のリスク分散 • 地域住民の理解の得やすさ 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域住民 • 公共施設利用者 	<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保（増築・リノベーション・建替） • 施設・設備の老朽化 • 機能向上 • 技術的な実現可能性
公共施設の改修、建替え工事中の仮設施設の整備用地確保 (各施設や鹿沼公園の駐車場、野球場等を仮設用地として利用)	<ul style="list-style-type: none"> • 既存の公共施設の近くに仮設施設を確保できる • 工事中のサービスの維持 	<ul style="list-style-type: none"> • 公共施設利用者 	<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保（建築・撤去等） • 仮設用地の確保（駐車場）
図書館等の機能充実 (現在の図書館に、国際交流ラウンジ、広いホール、音の出せる施設、ワーキングスペース、公園に開かれた閲覧スペース等を整備、館内のレイアウトの変更や地下の活用。 現在の公民館に、国際交流ラウンジを整備)	<ul style="list-style-type: none"> • 国際交流ラウンジの認知度、市民の理解向上 • 国際関係資料の充実 • 会議室の利用率向上 • リモートワークの支援 • 眺望のよい快適な空間 	<ul style="list-style-type: none"> • 公共施設利用者 • 外国人 • 地域住民 • 市民 	<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保（改修） • 施設・設備の老朽化 • 改修時のサービスの維持 • 必要なスペースの確保 • 改修の技術的な実現可能性（リノベーション・増築と合わせて検討）
鹿沼公園への移転等(一部) (児童館、公園管理棟、防災倉庫、カフェ、自然観察センター等との一体整備、音楽・芸能・文化系施設の複合化及び移転、音の出せる施設)	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の自然・文化の学び場 • 子どもたちの天候に左右されない遊び場、 • 防災拠点（炊き出し等） 	<ul style="list-style-type: none"> • 公園利用者 • 児童館利用者 • 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保（整備） • 施設の内容（展示物等） • カフェの運営体制
公共施設の運営の改善 （オンライン予約、フリーWi-Fi整備、駐車場有料化(土日祝のみ)）	<ul style="list-style-type: none"> • 施設の混雑の緩和 • リモートワーク、Web会議の支援 • 駐車場の不正利用者の排除 	<ul style="list-style-type: none"> • 公共施設利用者 • 地域住民 • 施設職員 	<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保(導入、整備) • 適正な駐車料金体系、管理体制

公共施設

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜分散パターン＞

資料

	アイデア	セールスポイント		課題
		どうして? Why	誰が喜ぶ? Who	
公園	鹿沼公園の現状維持 (現状を基本に維持管理)	<ul style="list-style-type: none"> 愛されている公園の現状を維持 新たな公園整備のコストが不要 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者 地域住民 市の財政 	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスでの解決が困難な公園が抱える課題の解決
	みんなが遊べる広場の整備 (野球場やテニスコートの用途転換)	<ul style="list-style-type: none"> 一年中、誰でも気軽に遊べる 子育て世代の憩いと交流の場 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者 子ども～高齢者 子育て世代 青少年 	<ul style="list-style-type: none"> 用途転換する施設の利用者の理解 必要に応じて代替施設の確保
	図書館と公園の一体的な利用 (公園と図書館の間の市道の駐車場化による規模拡大、駐車場有料化(土日祝のみ)、図書館駐車場の公園化)	<ul style="list-style-type: none"> 公園と図書館の一体感 公園と図書館の安全な移動 リースペースやイベント会場の確保(図書館前の空間(駐車場の移設)) 公園への見通し確保・維持 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者 図書館利用者 地域住民 公園管理者 	<ul style="list-style-type: none"> 市道の廃止の可否 地域住民の理解 交通環境の変化
	蓮池を熱帯ハスや熱帯の観葉植物などを見ることができるよう温室・植物園にする	<ul style="list-style-type: none"> 蓮の花を見ることが出来る。(夏場の早朝以外に蓮池はあまり観られることがない) 年間を通して楽しめる機会を増やすため 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 市民 公園利用者 	<ul style="list-style-type: none"> 財源(予算確保)
まちづくり	まちの構造を大きく変えない	<ul style="list-style-type: none"> 現在の良い環境の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 手を入れずに現状の維持ができるのか
	駅から公園の緑豊かなまちなみづくり (駅前緑の保全、歩道の拡幅、建物の高さ制限、ガーデニング)	<ul style="list-style-type: none"> 特色・魅力ある駅前 駅から公園へのつながり まちと公園の一体感による魅力アップ 安全な歩行者空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 公園利用者 駅利用者 来訪者 	<ul style="list-style-type: none"> 財源(整備、維持管理) 地域住民の理解、協力
	自転車を活かしたまちづくり (レンタサイクルの導入、周辺へのサイクリングルートや案内板の設置)	<ul style="list-style-type: none"> 駅からJAXA、博物館、淵野辺公園等へ気軽に散策 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 駅利用者 来訪者 	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎の自転車通行の確保(駅の南北アクセス) レンタサイクルの管理運営
	公共施設跡地(一部)の民間活用や助成金制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備の財源となる まちのにぎわいの創出につながる 生活利便性の向上につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 相模原市民 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 民間活用時の条件整理 民間参入の可能性

市民検討会 まちづくりのアイデア <分散パターン>

資料

アイデアのポイント

- 公共施設は、現在の位置を基本とし、既存の建物を増築やリノベーション又は建替えにより、機能の維持・改善を行う。
- 鹿沼公園は、現在の魅力の維持を基本とするが、図書館との一体的な利用や野球場を用途転換し、誰でも気軽に遊べる広場や防災施設を新たに整備する。
- まちは、現在の構造を大きく変えず、駅前から公園に至る道路の緑豊かな景観の保全・育成や自転車を活かしたまちづくりをする。

セールスポイント

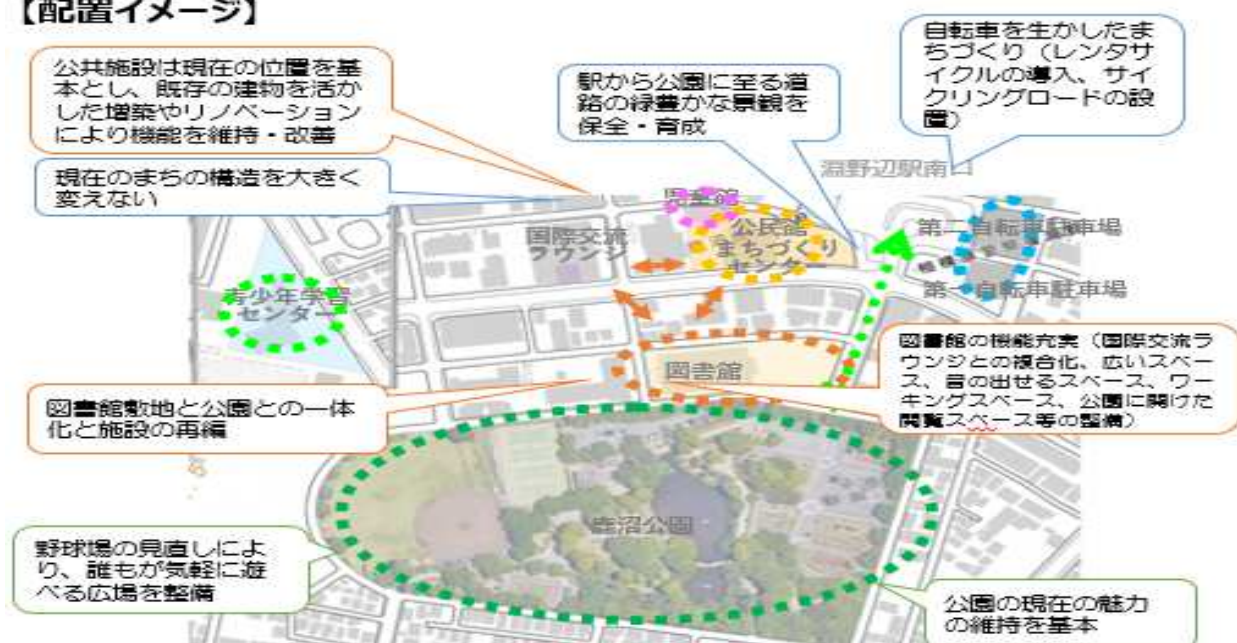
どうして？ Why・誰が喜ぶ？ Who

- 現在の環境(施設・公園・まち)を維持・改善すると、駅から近いことによる利便性の維持ができ、また、災害・感染症のリスク分散もでき、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ
- 公園内に一年を通して誰もが遊べる施設や、子育て世代の憩いと交流の場を創設すると、誰でも気軽に遊べ、公園利用者・子育て世代が喜ぶ
- 特色・魅力ある駅前から公園へのつながり、まちと公園の一体感による魅力をアップすると、地域住民・公園利用者・駅利用者・来訪者が喜ぶ

課題

- 財源（増築・リノベーション・建替え費、仮設建築・撤去費など）の確保（助成金制度や民間ノウハウの活用）
- 老朽化対策として増築・リノベーションが適切か（耐用年数を考慮）
- 増築・リノベーションでニーズの不整合を解決できるか（既存構造の限界）
- 公園が抱えている課題（老朽化、安全対策）の解決と整備費の確保
- 世の中が変化する中で、現在のまちの環境を現在のまま維持する困難さ

【配置イメージ】



市民検討会 まちづくりのアイデア ＜鹿沼公園中心パターン＞

資料

	アイデア	セールスポイント		課題
		どうして? Why	誰が喜ぶ? Who	
公共施設	多くの公共施設を鹿沼公園内に集約・複合化して整備（青少年学習センター等の一部施設を現在の位置で維持することも検討）	<ul style="list-style-type: none"> 利用者利便性の向上 異世代交流の促進 防災拠点としての活用 イベント空間の確保 仮設用地不要でサービスの継続が可能 維持管理費を軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者 公共施設利用者 次世代の住民 	<ul style="list-style-type: none"> 財源確保（民間企業との契約など） 公共施設の建設場所（公園内） 公園景観、周辺景観への配慮、安全性確保
	時代に見合った新しい施設を鹿沼公園内に整備	<ul style="list-style-type: none"> 音が出せるホール、スタジオの創出 文化に触れる場の創出 若い人の交流に寄与する場の創出 子供たちの成長の場を創出 市民活動の場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 子供 青少年 大学生 外国人ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 財源確保 公共施設の整備場所 運用方法（公園利用者への配慮）
	駐車場・自転車駐車場の容量拡大、共有化	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場の駐車台数の拡大 公園地下に駐車場を整備 公共施設駐車場の共有 駐車場、駐輪場は駅に近い現在の配置を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車利用者 自転車利用者 	<ul style="list-style-type: none"> 財源確保 適切な料金設定 安全に配慮した動線 仮設駐輪場の確保
公園	鹿沼公園内への公共施設の整備と併せた公園の再編（遊具の充実、交通公園の改善（D-52を残す）、バリアフリー化、自転車乗り入れ禁止、犬の散歩禁止ほか）	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設と公園を一体的に再整備することにより、公園と公共施設の相互利用が期待できる 公共施設の低層化（高層化は美観を損ねる。低層で公園を包み込む配置） 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者 周辺住民 	<ul style="list-style-type: none"> 今の公園の良い部分を残すことが重要 建物の規模設定
	公園施設のリニューアル（野球場スペースの有効活用等）	<ul style="list-style-type: none"> 野球場スペースにおける防災広場の整備 野球場スペースの暫定利用による憩い空間、にぎわいの創出 老朽化施設のリニューアル（児童公園、水性植物池） 高齢者用の健康遊具整備 若者向けの施設整備（クライミング、スケボーなど） グリーンインフラの整備 エディブルガーデンの整備（公民館活動の場として） 防災公園整備（井戸、太陽光発電） 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者 	<ul style="list-style-type: none"> 野球場利用者との調整 野球場の代替地 芝生の養生、騒音 財源確保 公園利用者の合意 利用料金の導入

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜鹿沼公園中心パターン＞

資料

アイデア		セールスポイント		課題
		どうして? Why	誰が喜ぶ? Who	
公園	公園の景観を活かしたカフェ等、新たな公園施設の導入	<ul style="list-style-type: none"> • カフェの整備により居心地の良い場や多世代交流促進の場の創出 • 高齢者用の健康遊具整備 • 若者向けの施設整備（クライミング、スケボーなど） • グリーンインフラの整備 • エディブルガーデンの整備（公民館活動の場として） 	<ul style="list-style-type: none"> • 公園利用者 • 子育て世代 • 学生 • 高齢者など 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営事業者の確保 • カフェの採算性 • 財源確保 • 公園利用者の合意 • 利用料金の導入
	まちづくり	鹿沼公園周辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 公園外周の整備（サイクリング、ジョギングロード化） • 公園エントランスの景観創出 • 駅からのバリアフリー化 • 既存駐輪場を移設し自転車と歩行者動線の分離 • 交通体系やメイン道路整備（混雑緩和のため、国道から駅までの道路） 	<ul style="list-style-type: none"> • 駅利用者 • 公園利用者 • 近隣住民 • 相模原市民
まちづくり	公共施設の跡地を民間に活用してもらう	<ul style="list-style-type: none"> • 施設整備の財源となる • まちのにぎわい創出につながる • 生活利便性の向上につながる 	<ul style="list-style-type: none"> • 相模原市民 • 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> • 民間活用時の条件整理 • 民間参入の可能性

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜鹿沼公園中心パターン＞

資料

アイデアのポイント

- 公共施設は、鹿沼公園を中心に集約・複合化することで、公園や各施設を一体的に活用するとともに、管理の効率化を図る。
- 鹿沼公園は、現在の魅力を活かしつつ、公共施設整備に合わせて一体的な再整備を実施する。
- 駅から公園への動線のバリアフリー化や交通動線の整理等を実施し、鹿沼公園を中心としたまちづくりを行う。また、公共施設の跡地は、売却等による事業費の縮減を図るほか、駐輪場や駐車場としての活用を検討する。

セールスポイント

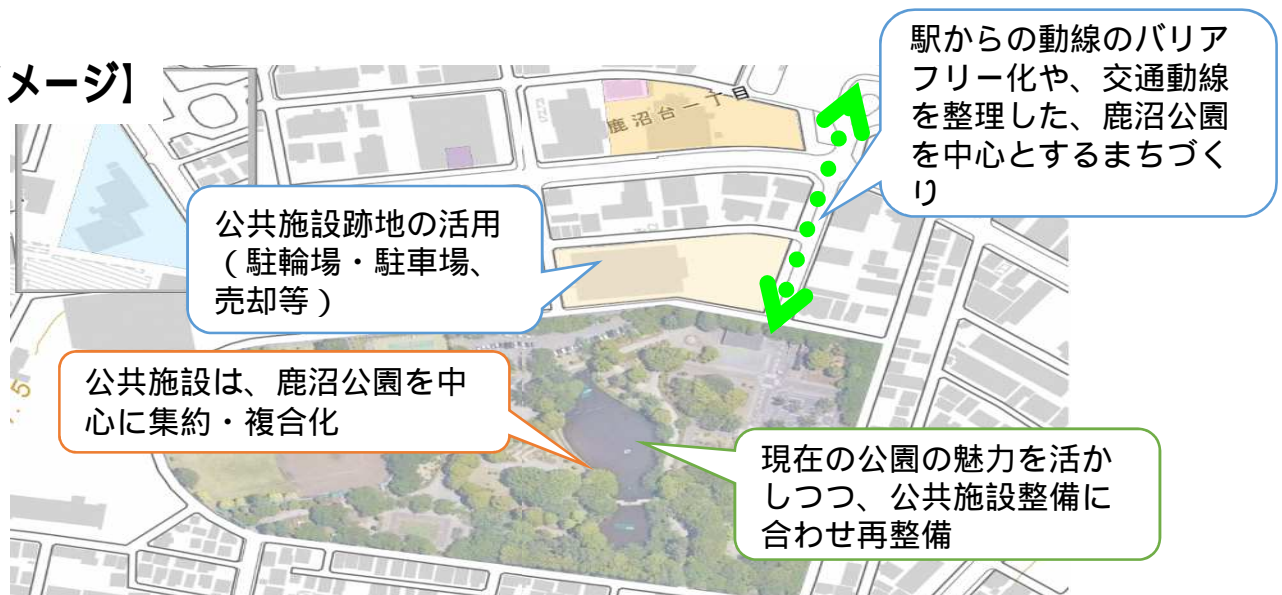
どうして？ Why・誰が喜ぶ？ Who

- 様々な施設が集約・複合化されることにより、特に複数施設の利用者の利便性が向上するほか、維持管理費を縮減できる
- カフェ等の施設を併設しにぎわいを創出することで、施設・公園利用者（主に若年層）が喜ぶ
- 仮設の公共施設を設置することなくサービスの継続が可能のため、既存の施設利用者が喜ぶ
- 公共施設の跡地を売却することにより事業費が縮減できるほか、まちのにぎわいを創出できるため、地域住民が喜ぶ
- 老朽化している公園施設（遊具や園路）も併せてリニューアルすることができるため、遊具等の公園施設利用者や高齢の利用者が喜ぶ

課題

- 既存の公園の良さを残せるような再整備をする必要がある
- 時代に見合った新しい施設を設置する場合、財源をどのように確保するのか
- にぎわい施設の採算が取れるか
- 公共施設跡地利用のされ方

【配置イメージ】



市民検討会 まちづくりのアイデア

<図書館敷地中心パターン>

資料

	アイデア	セールスポイント		課題
		どうして? Why	誰が喜ぶ? Who	
公共施設	図書館敷地と公園駐車場を一体的に活用し、図書館敷地に複合施設を再整備する（図書館、 、 、・・・）	<ul style="list-style-type: none"> • 一体化することにより用地の有効活用が可能 • 交流が広がる（イベントの実施） • 明るいイメージの創出 	<ul style="list-style-type: none"> • 公共施設利用者 • 公園利用者 • 子育て世代 • 電車での来園者 	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館の仮設 • 道路の廃止、公園の一部機能の変更 • 解体、近隣住民への騒音、振動などストレスの発生 • 駐車場の代替
	一部の施設については、図書館敷地以外に再整備する（まちづくりセンター、 、・・・）	<ul style="list-style-type: none"> • 公民館、まちづくりセンターは駅に近い方が利便性が高い • 駐輪場は財源確保のため継続して運営 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の利用者 	<ul style="list-style-type: none"> • 駅前施設利用者の駐車場の確保
	市営駐輪場の拡充（図書館駐車場の地下に新設）	<ul style="list-style-type: none"> • や、 といった多様なニーズに応えることができ、収入にもつながる 	<ul style="list-style-type: none"> • 駅利用者 	<ul style="list-style-type: none"> • 実現可能性 • 歩行者・自転車の動線、安全面
公園	新たな機能の導入（SL活用を活用したカフェの整備、図書館敷地を含めて飲食も可能な机やベンチの設置）	<ul style="list-style-type: none"> • 雨、風、寒さをしのぐことが可能 • 地域のイメージに合った公園の売りの創出 • 密の回避、屋外での飲食は安心 • 開放感の創出 • 子供の声など気にしなくて済む • コミュニケーションの場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者（年齢問わず） • 子育て世代 • 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> • 参入する事業者の確保（採算性） • SLの移設 • 客室の整備の実現性 • 机やベンチの維持管理（特に飲食での利用のため）
	既存施設の更新・用途変更（老朽化対策、公園駐車場の地下化・有料化、野球場を多目的広場として活用）	<ul style="list-style-type: none"> • 古いものは改善して利用しやすくなる • 駐車場の不正利用が減少し、新たな収入源が確保できる • 冬季も野球場の有効利用ができ、コミュニティ活動の場としても利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> • 公園利用者 • 地域住民 • 子育て世代 • 将来世代 	<ul style="list-style-type: none"> • リニューアルに財政負担が大きい • 地下駐車場までのアプローチ • 野球場利用者との合意形成
	その他 公園リニューアル（図書館駐車場を公園芝生広場にして遊具を設置し、子どもの屋外遊び場とする、季節ごとに違う直物を）	<ul style="list-style-type: none"> • 明るいまちのイメージになる • 公園の景観が季節により変わり、何度も足を運びたくなる 	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代 • 駅利用者 • 地域住民 • 公園管理者 	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館駐車場の確保 • 公園利用者の安全 • 花の細やかな手入れ
まちづくり	駅から公園までの通りを整備する（駅から真正面に公園の入口を移動し、公園と一体的な植栽、段差の解消、歩道の拡幅、自転車と歩行者の分離）	<ul style="list-style-type: none"> • 沿道の建物や植栽等の景観を統一し、駅から真正面に公園の入口がある方が、ローケーションがよく、まちの玄関口として相応しい • 歩道が安全に利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域住民 • 駅利用者 • 子育て世代 	<ul style="list-style-type: none"> • 住宅等があり敷地には限りがある • 地域での植栽の継続的な管理 • 財源の確保 • 地権者との合意形成
	公共施設の跡地を民間に活用してもらう	<ul style="list-style-type: none"> • 施設整備の財源となる • まちのにぎわい創出につながる • 生活利便性の向上につながる 	<ul style="list-style-type: none"> • 相模原市民 • 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> • 民間活用時の条件 • 民間参入の可能性

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜図書館敷地中心パターン＞

資料

アイデアのポイント

- 図書館敷地と公園駐車場敷地を一体的に活用し、公共施設を複合化により再整備する（一部の公共施設は駅前の駐輪場と合わせて再整備）
- 公園施設の機能充実を図るとともに、公園内に雨、風、寒さをしのげるような休憩場所（カフェ等）や密が避けられる屋外には机やベンチを整備する
- 駅から公園までの道を整備し、公園の入口を真正面に変更する
- 公共施設の跡地を有効活用する

セールスポイント

どうして？ Why ・ 誰が喜ぶ？ Who

- 公園と図書館用地の有効活用が可能となり、複合施設利用者同士だけでなく、公園利用者を含めた交流が広がる
- 行政の窓口サービスを利用する人が、駅に近い場所でサービスを受けることができる
- 淵野辺駅南口の玄関口としてふさわしい空間ができ、まちのにぎわい創出につながり、地域住民が喜ぶ
- 施設整備の財源を確保でき、事業の実現可能性が高まり、次世代に過度な負担を残さない形で引き継ぐことができる

課題

- 図書館敷地や駅前駐輪場を活用するため、仮設施設の建設が必要になる可能性
- 財源確保（複合施設の建設、公園リニューアル、駅から公園までの道の整備）
- カフェの事業採算性（事業者の確保）
- 公共施設跡地利用のされ方

【配置イメージ】



市民検討会 まちづくりのアイデア

< 公民館敷地中心パターン >

資料

アイデア	セールスポイント		課題	
	どうして? Why	誰が喜ぶ? Who		
公共施設	- 1 全てまたは図書館のみを公民館敷地内に整備	<ul style="list-style-type: none"> 駅近施設の利便性の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設利用者 (特に高齢者層) 	<ul style="list-style-type: none"> 建替時の公民館・まちセンの代替地確保
	- 2 図書館のみを公民館敷地内に整備	<ul style="list-style-type: none"> 駅近施設の利便性の維持 図書館駐車場に建替時の代替地が確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設利用者 (特に高齢者層) 市の財政 	<ul style="list-style-type: none"> 建替時の公民館・まちセンの代替地確保 駐車場用地の確保
	児童館、公園管理施設は鹿沼公園敷地内に整備	<ul style="list-style-type: none"> こどもセンターの新設、若しくは児童館の移築による子育て支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 児童館利用者 子育て世代 駅利用者 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> こどもセンター設立時の職員確保
	駐車を図書館敷地内に集約して整備	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の歩車混在を緩和できる 	<ul style="list-style-type: none"> 駅利用者 公共施設利用者 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 建物から駐車が遠くなる 周辺の交通整備、渋滞、事故対策に配慮が必要
		<ul style="list-style-type: none"> 将来の複合施設建て替え用地を確保 (工事中の休館不要) 	<ul style="list-style-type: none"> 市の財政 	
		<ul style="list-style-type: none"> 鹿沼公園の緑地面積確保 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 公園利用者 次世代の住民 	
駐輪場、音の出る施設、国際交流ラウンジを駐輪場敷地内に整備	<ul style="list-style-type: none"> 周辺への音・騒音の影響が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者 施設周辺に住む地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点の自転車ラッシュによる事故リスクは減らない 	
	<ul style="list-style-type: none"> 小型バイク以上の駐車場確保する 	<ul style="list-style-type: none"> 小型バイク以上の利用者 		
	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流ラウンジの賃料負担をなくす 	<ul style="list-style-type: none"> 市の財政 		
公園	公園施設 (野球場) のリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> 野球場を多機能スポーツ広場にする 	<ul style="list-style-type: none"> 野球愛好者以外の多くのスポーツ愛好者 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 野球愛好者への説明が必要 公園の老朽化対策 財源の確保

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜公民館敷地中心パターン＞

資料

アイデア	セールスポイント		課題
	どうして? Why	誰が喜ぶ? Who	
まちづくり 駅から公園までの通りの 景観統一	• 憩いの場所が増える	• 地域住民 • 駅利用者 • 公園利用者	• 地域で植栽の継続的な 管理が必要 • 財源の確保 • 人の動線は?
	• 景観が統一	• 地域住民 • 駅利用者 • 公園利用者	
	• 公園まで行ってみたいくなる	• 地域住民 • 駅利用者 • 公園利用者	
まちづくり 公共施設の跡地の活用	• 施設整備の財源となる	• 地域住民 • 駅利用者 • 市の財政	• 民間活用時の条件整 理
	• まちのにぎわいの創出に つながる	• 地域住民 • 駅利用者 • 公園利用者	
	• 生活利便性の向上につな がる	• 地域住民 • 駅利用者	

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜公民館敷地中心パターン＞

資料

アイデアのポイント

- ・ 公共施設は大野北公民館敷地に図書館を複合化し、駅から近いことによる利便性を維持する。
- ・ 鹿沼公園は、野球場を多機能スポーツ広場に見直し公園利用者層の拡充を図る。
- ・ まちは、駅から公園までの通りの景観を統一することにより、憩いの場所を増やしつつ公園利用者層の拡充を図る。

セールスポイント

どうして？ Why ・ 誰が喜ぶ？ Who

- ・ 駅近施設の利便性を維持すると公共施設利用者（特に高齢者層）が喜ぶ。
- ・ 多機能スポーツ広場にすると野球以外の多くのスポーツ愛好者、地域住民が喜ぶ。
- ・ 憩いの場所が増えると地域住民、駅利用者、公園利用者が喜び、公園まで行ってみたいくなる者が増える。

課題

- ・ 公民館を建て替える際の代替地確保が必要
- ・ 財源（建替費、仮設建築・撤去費等）の確保
- ・ 公園が抱えている課題（老朽化、安全対策）の解決

【配置イメージ】

